

| | | |
|------------------------|--|-------|
| VELONAΦ60 タコメーターKIT | 適応車種 | 商品NO. |
| | CL250 (23) <8BK- MC57> CL500 (23) <8BL- PC68> | 33103 |




■ ご使用前に必ずご確認ください ■




※本商品のご使用前に最終項に記載の URL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。




※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。

※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

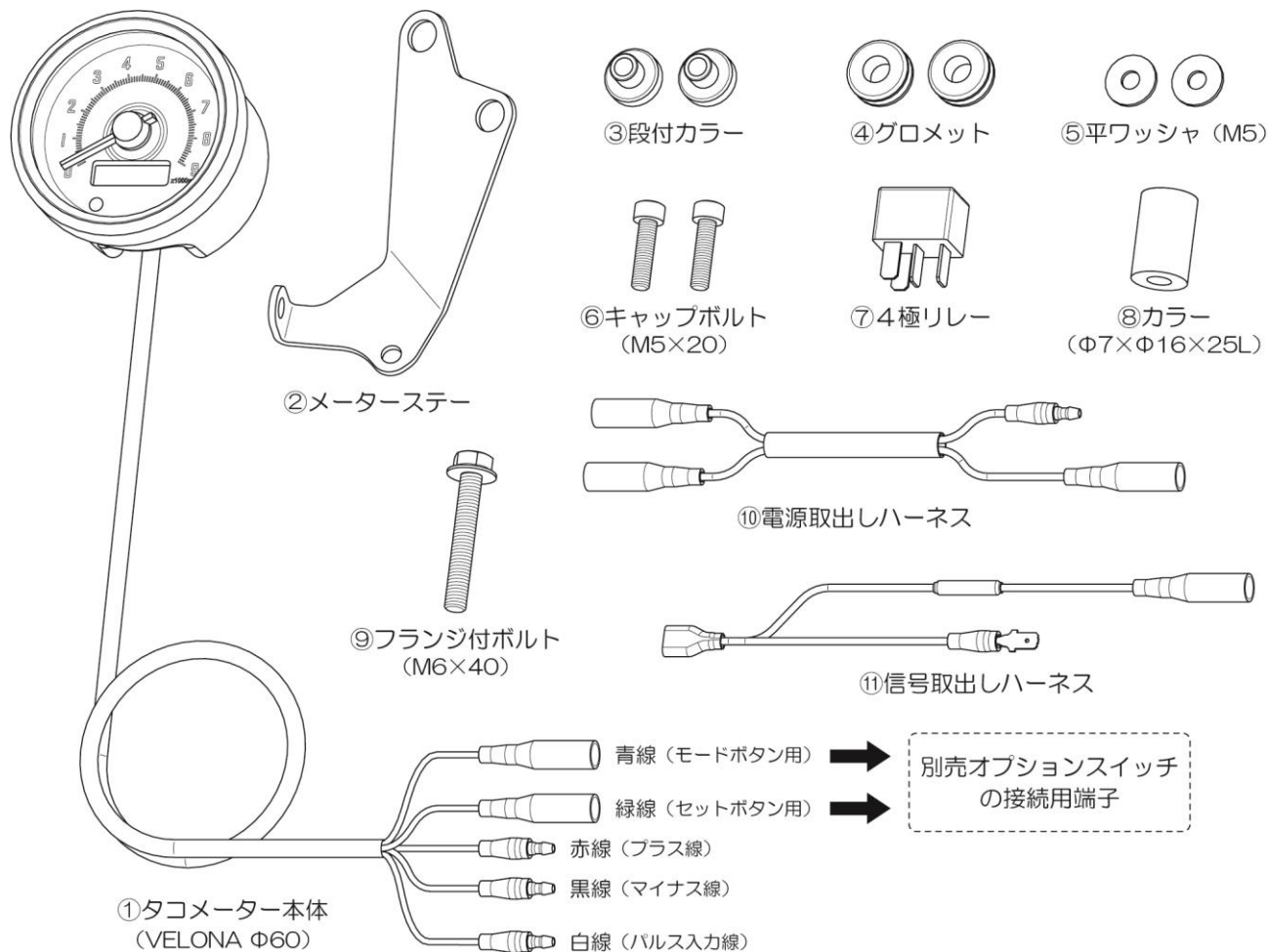
| | | | | | |
|--|---------------------|--|-------------------------|---|---------------------|
|  禁止 | 禁止の行為であることを告げるものです。 |  実施 | 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 |  その他 | その他の警告及び注意を告げるものです。 |
|--|---------------------|--|-------------------------|---|---------------------|

| | |
|--|---|
|  警告 | 要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。 |
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none"> 本商品は記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。 本商品に曲げ・切削・溶接などの加工を行なわないでください。商品や車両側の破損だけでなく、重大な事故につながる恐れがあります。 本商品を取り付けたことにより、運転操作に支障をきたす、または走行が妨げられるような取り付けはしないでください。 作業する際は、車両のメインキーを OFF にし、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。感電やショートのため恐れがあります。 |
|  実施 | <ul style="list-style-type: none"> 取付前に取付箇所の純正部品や車両に欠損や破損がないか確認してください。異常が見られる場合は新品に交換するなどしてください。 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。 |

| | |
|---|---|
|  注意 | 要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。 |
|  実施 | <ul style="list-style-type: none"> 商品取り扱い時に商品の端面や商品に突起やバリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。パッケージの取り扱いも含め、取り扱いの際は必ず保護手袋を着用しケガには十分に注意して作業を行なってください。またエッジや突起部がある場合はヤスリなどを使用して適切な処理を行ない、取り除いてください。 本商品を開梱の際は構成部品に外観の不具合や異常がないことを必ず確認してください。万一お気づきの点がありましたら、ご使用前にお買い求め販売店へ速やかにご相談ください。 作業は適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗または認証工場にて脱着作業をご依頼ください。作業が適切に行なわれないと、作業中や使用中に車両や商品の損傷や不具合などに繋がる場合があります。 本商品を取り付ける前に本書と車両メーカー発行のサービスマニュアルを熟読し、ご理解のうえで作業を行なってください。 作業は周囲の安全を確保し、安全な場所で車両を安定させたいうで行なってください。 取り付けは各作業に適した工具をご使用ください。不適切な工具を使用すると部品の破損やケガをする可能性があります。 ボルトやナット類の締め付けにはトルクレンチを使用し、所定トルクまたは車両メーカー発行のサービスマニュアルで指示されたトルクで確実に締め付けてください。 取り付け後に約 100km 走行しましたら各部を必ず点検整備し、必要に応じてネジの増し締めを行なってください。その後は約 500km 毎に同様の作業を行なってください。 |
|  その他 | <ul style="list-style-type: none"> 本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は一切お受けできません。また商品保証は本商品のみが対象になります。 本商品に付属の電源ハーネスは最大 12V/3A (36W) 相当の電源の取り出し用に設計されています。本仕様以上の電源が必要な電装品は接続しないでください。 メーターケース内外の気温差や湿度により、ガラス面が結露して曇る場合があります。その場合は裏側のラバーボタンスイッチを外し、内部を乾燥させてください。 本商品の取り付け時に外した純正部品は紛失しないように十分にご注意ください。 本商品は純正車両をベースに設計されています。社外パーツなどとの同時装着はできない場合がございます。 本商品は素材や製造方法により製品個体差があります。塗装やキズ、歪みなど程度の差がございます。 本商品はスチール製の塗装部品を使用しております。ご使用の環境や経年変化によらず使用損耗や素材劣化（サビ含む）が、早期から進行する場合があります。 定期的に各部の点検を行なってください。また塗装のはがれやキズ、サビなどが発生した場合は適切な補修を行なってください。補修せずに使用すると素材劣化が促進され、本商品の破損だけでなく、車両へのダメージの原因となります。 本商品を取り付けた場合に車両側の取り付け面や、その周辺にキズが付く場合があります。 本商品、または本書でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。 |

商品内容

| NO | パーツ名 | サイズ (mm) | 数量 | NO | パーツ名 | サイズ (mm) | 数量 |
|----|-----------------|----------|----|----|-----------|--------------|----|
| ① | タコメーター (VELONA) | Φ60 | 1 | ⑦ | 4 極リレー | | 1 |
| ② | メータステー | | 1 | ⑧ | カラー | Φ7×Φ16×25L | 1 |
| ③ | 段付カラー | | 2 | ⑨ | フランジ付ボルト | M6×40 (P1.0) | 1 |
| ④ | グロメット | | 2 | ⑩ | 電源取出しハーネス | | 1 |
| ⑤ | 平ワッシャ | M5 | 2 | ⑪ | 信号取出しハーネス | | 1 |
| ⑥ | キャップボルト | M5×20 | 2 | | | | |



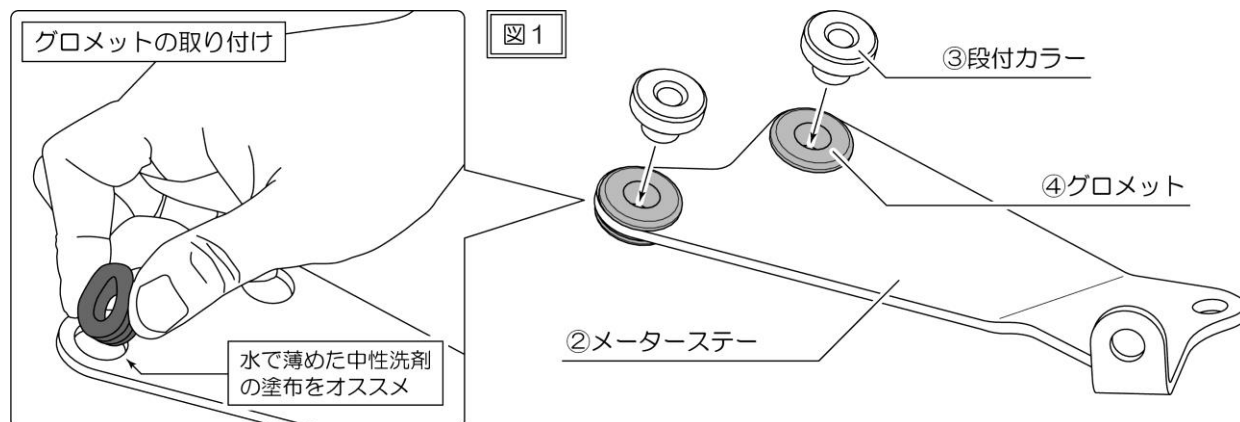
取付方法

【作業前の注意事項】

- ・純正部品の取り外しや取り付けについては、各メーカー発行のサービスマニュアルに従い、正しく行ってください。
- ・作業を始める前に周囲の安全を確保し、車両を安定させた状態で転倒やケガなどに十分注意して作業してください。

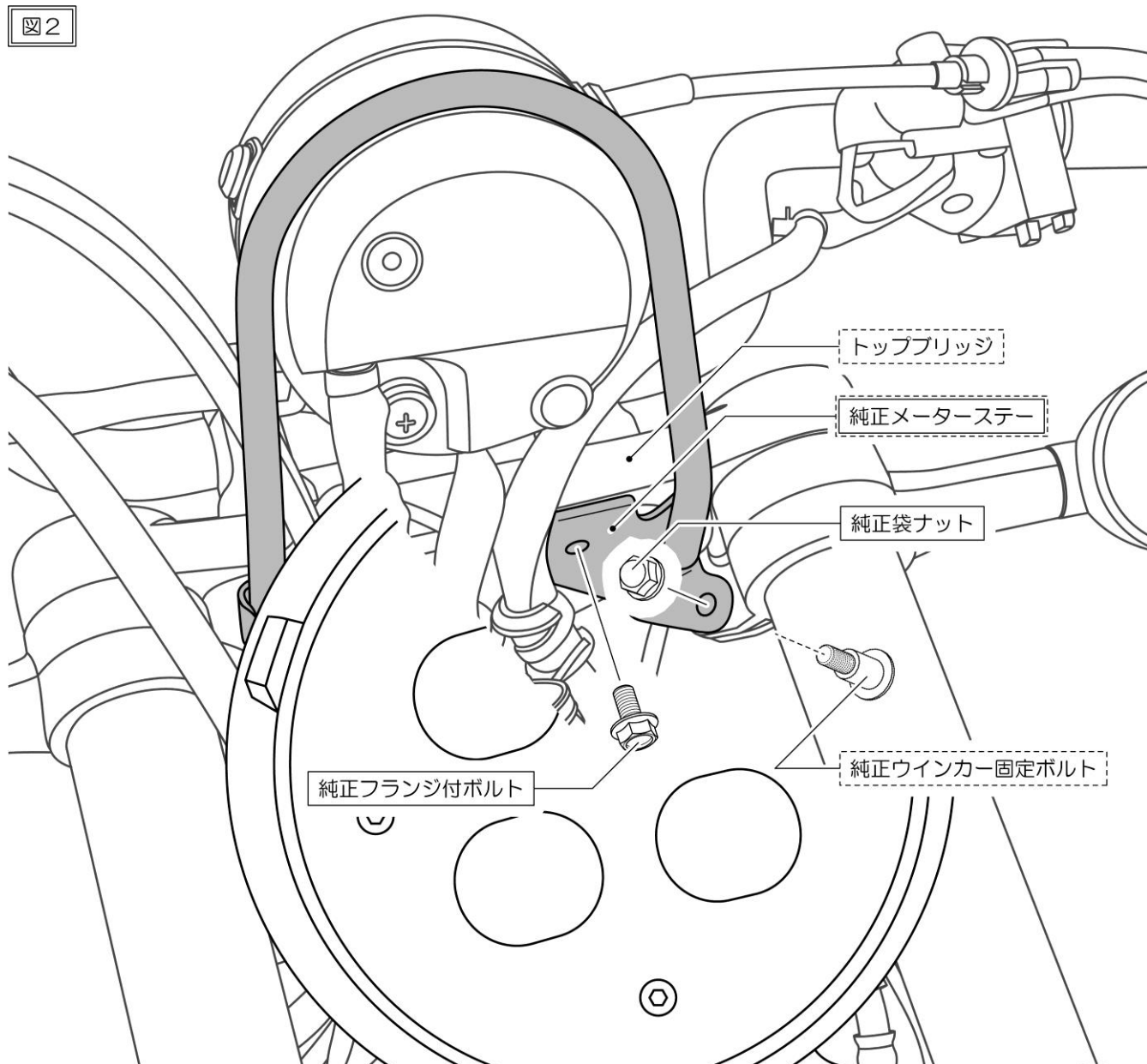
01. メーターステーの組み立て

- ・図1を参考に、②メーターステーに③段付カラーと④グロメットを組み付けます。



02. メーターステー取り付け箇所のボルトとナットを取り外し

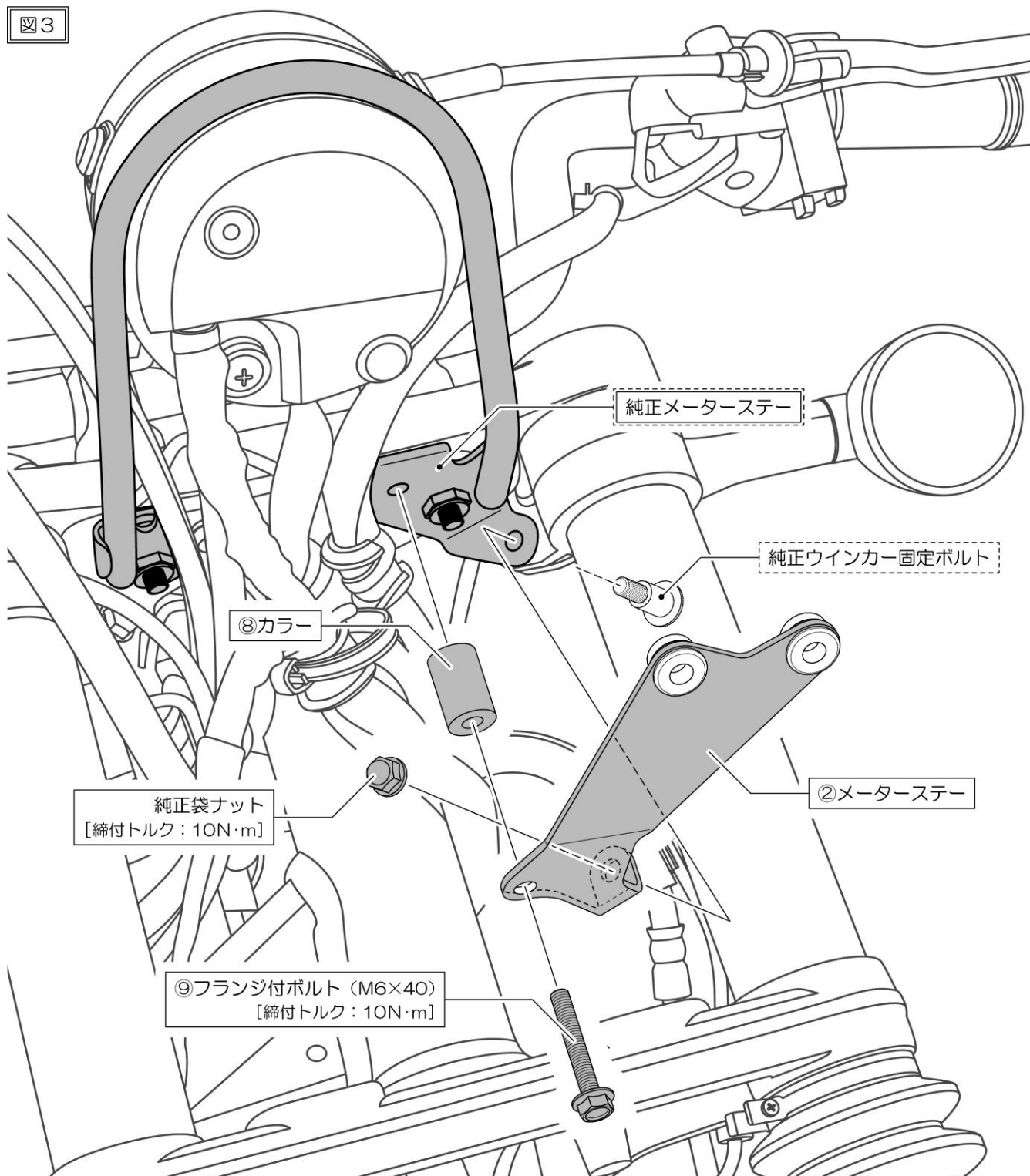
- ・図2を参考に、トッブリッジ裏側より純正メーターステーを固定している純正フランジ付ボルト（1本）と左側ウインカーを固定している純正袋ナット（1個）を取り外します。



03. メーターステーの取り付け

- 図 3 を参考に、先の手順で外した場所に、⑨フランジ付ボルト (M6×40) と⑧カラー、純正袋ナットを使用して②メーターステーを取り付けます。

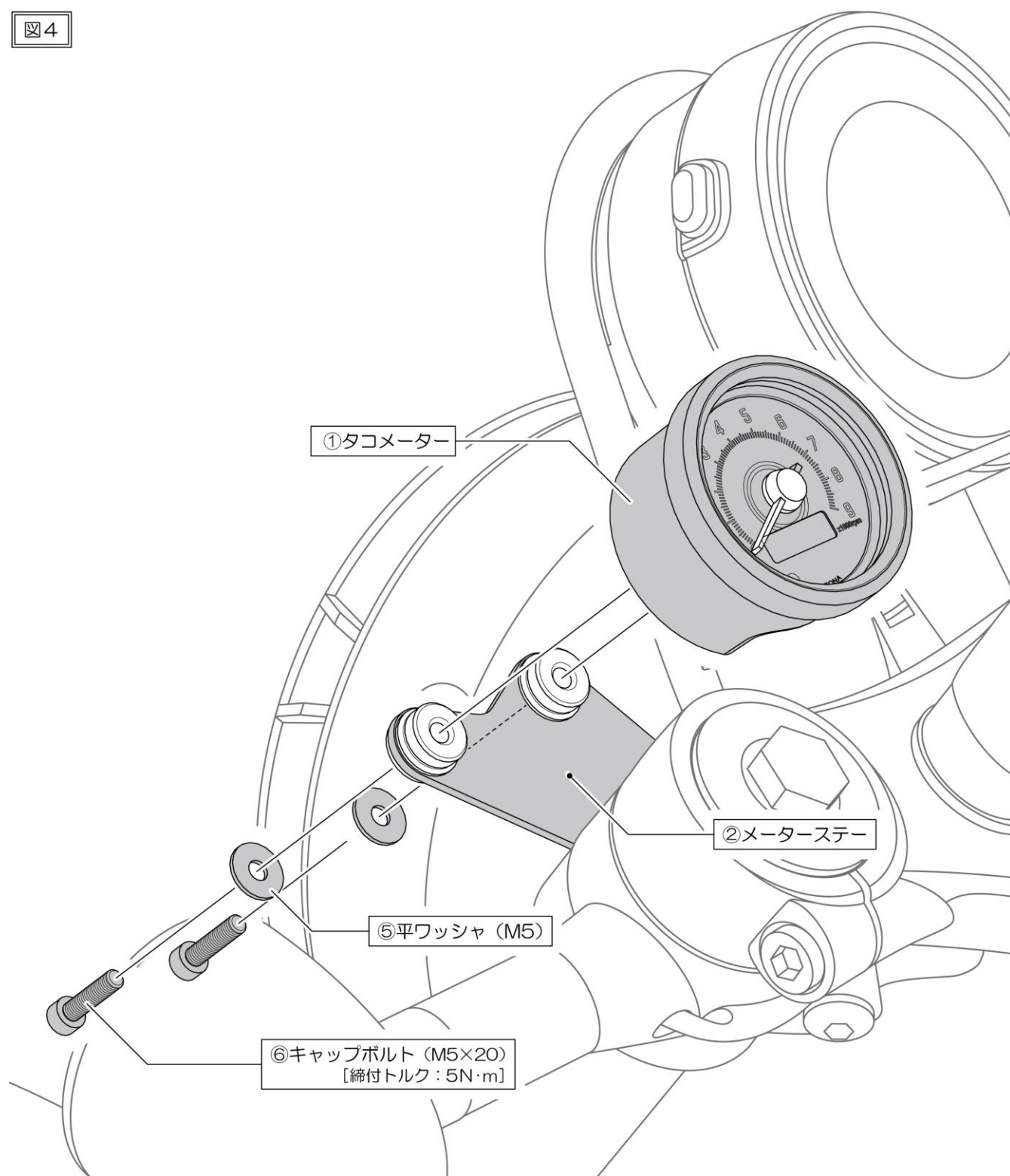
図 3



04. タコメーターの取り付け

- 図 4 を参考に、⑤平ワッシャ (M5) と⑥キャップボルト (M5×20) を使用して、②メーターステーへ①タコメーターを取り付けます。

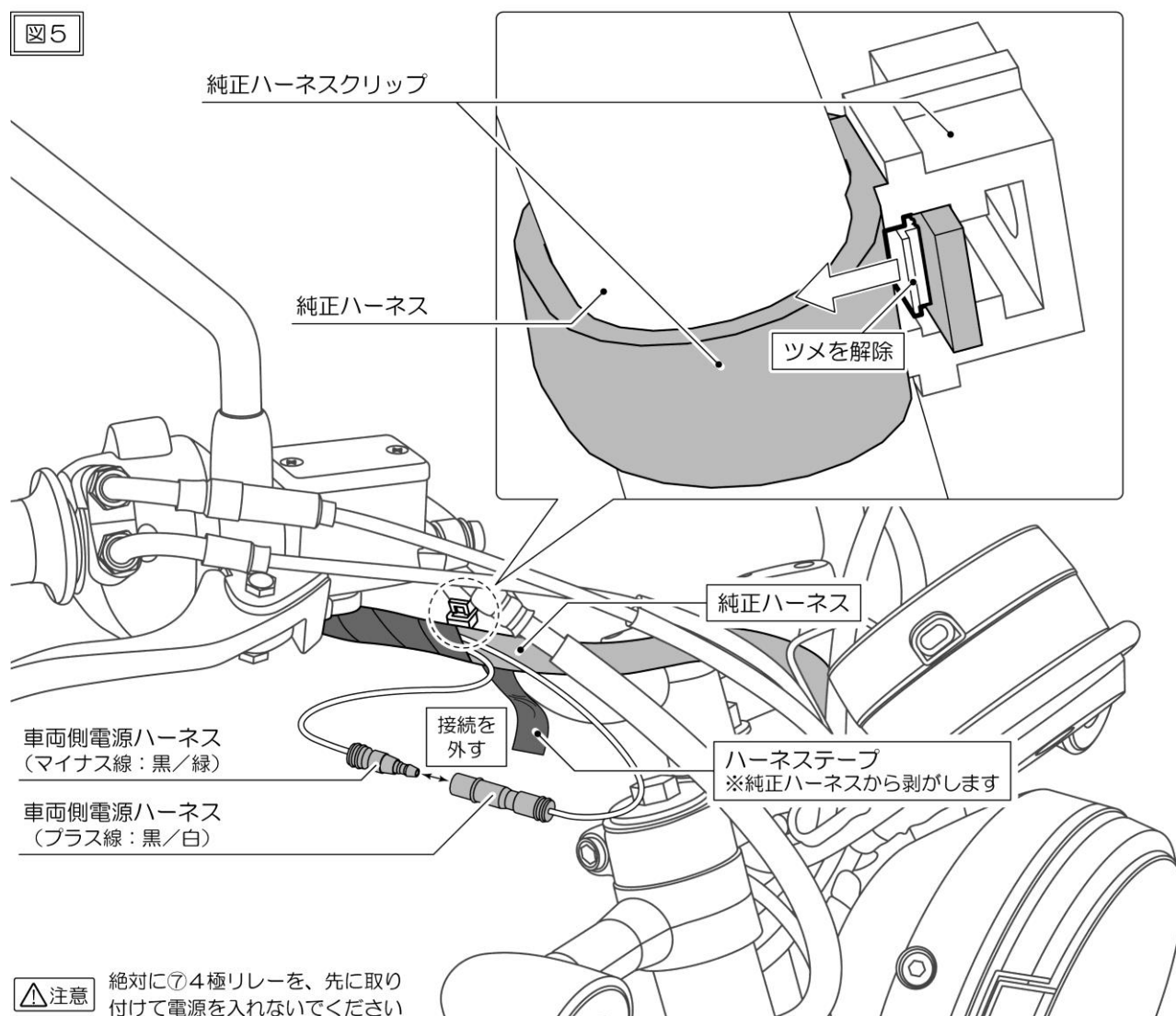
図4



05. 車両側電源ハーネス（プラス&マイナス）の取り出し

- 図5を参考に、純正ハーネスクリップを解除して、純正ハーネスをハンドルから外します。
- 純正ハーネスに巻かれているハーネステープをはがし、車両側電源ハーネス（プラス&マイナス）の線を取り出します。
※車両側電源ハーネスはプラス線とマイナス線がギボシ端子で接続されています。必ず接続を外してください。

図5

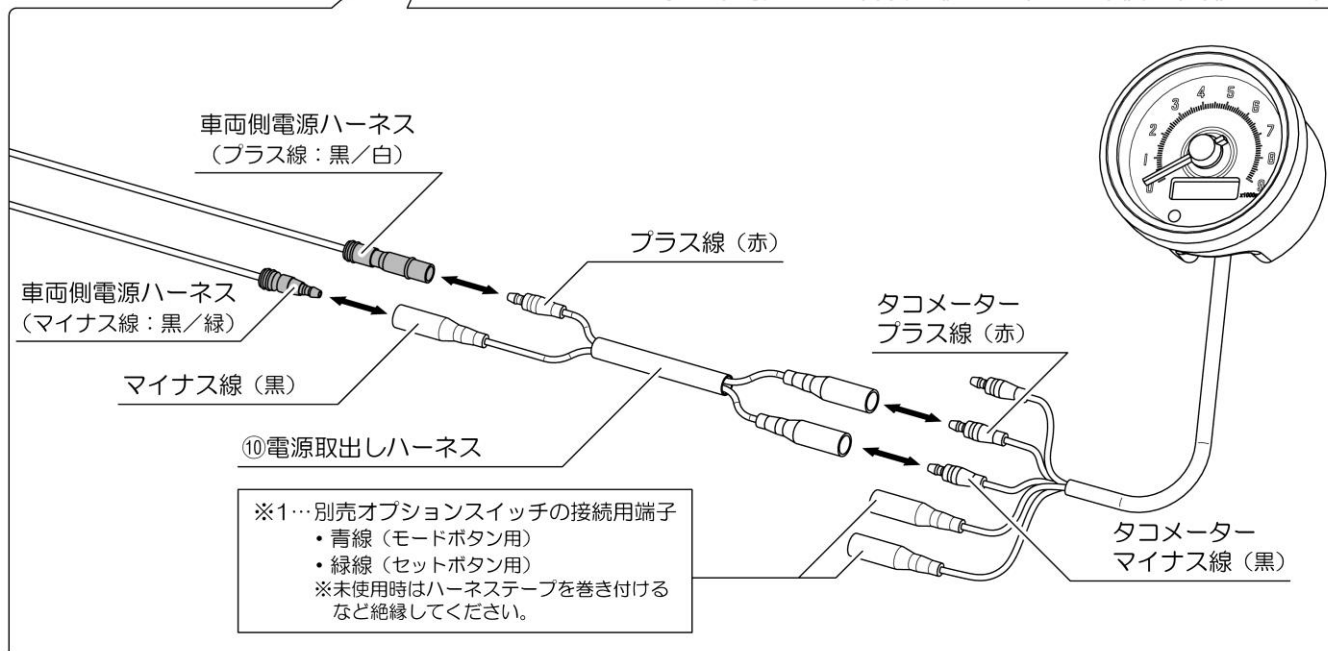
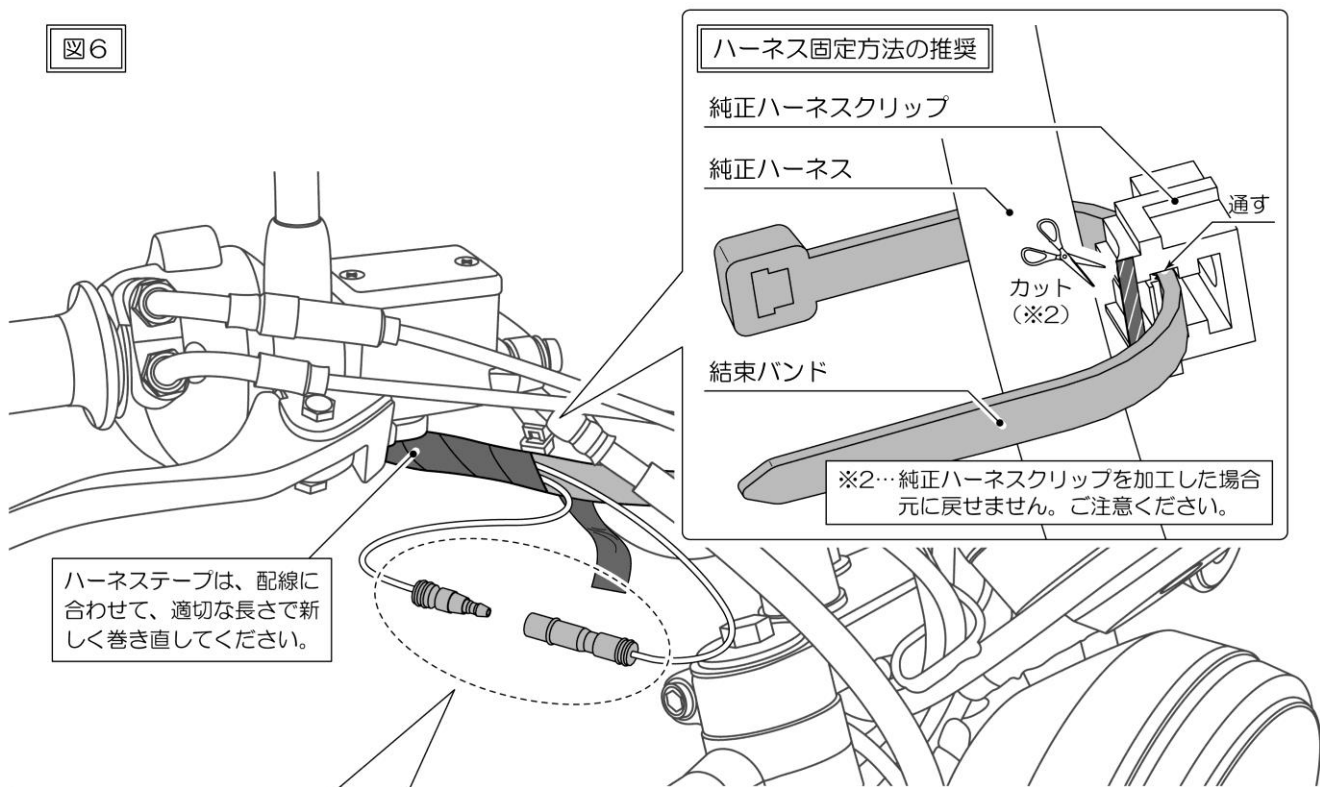


06. 電源取出しハーネスの接続

- 図6を参考に、⑩電源取出しハーネスを車両側電源ハーネスに接続します。
- ①タコメーターの電源線を⑩電源取出しハーネスに接続します。
- 純正ハーネスに沿わせて⑩電源取出しハーネスをハーネステープなどで巻き付けます。
- 結束バンドを使用して、純正ハーネスをハンドルに固定します。

※純正ハーネスクリップは結束のバンド部が短いため、車両側電源ハーネス（プラス線&マイナス線）と純正ハーネスを同時に固定することができません。純正ハーネスクリップを流用して取り付ける場合は、図中の「ハーネス固定方法の推奨」を参考に、純正ハーネスクリップを加工し、結束バンドで固定してください。また、この方法は純正ハーネスクリップをカットする加工のため、元に戻せなくなります。ご注意ください。

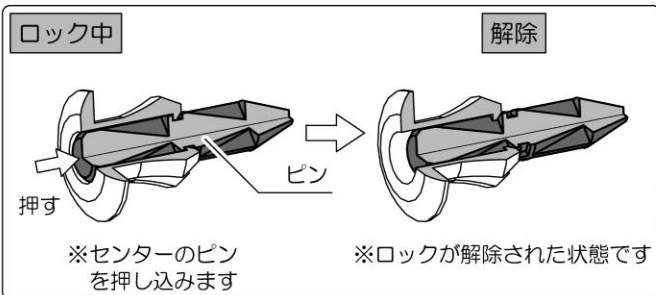
図6



07. バッテリーカバーの取り外し

- 純正シートを取り外します。
- バッテリーのマイナス端子を取り外します。
※バッテリー端子のボルトとナットは脱落させて無くさないように、仮締めしておきます。
- 図7を参考に、プッシュリベット（4本）を外し、バッテリーカバーを取り外します。

プッシュリベットの取り外し方法



プッシュリベットの取り付け方法

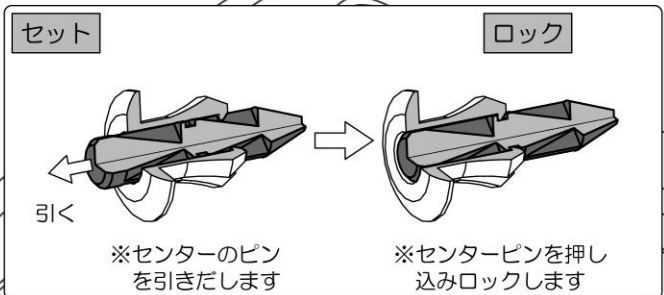
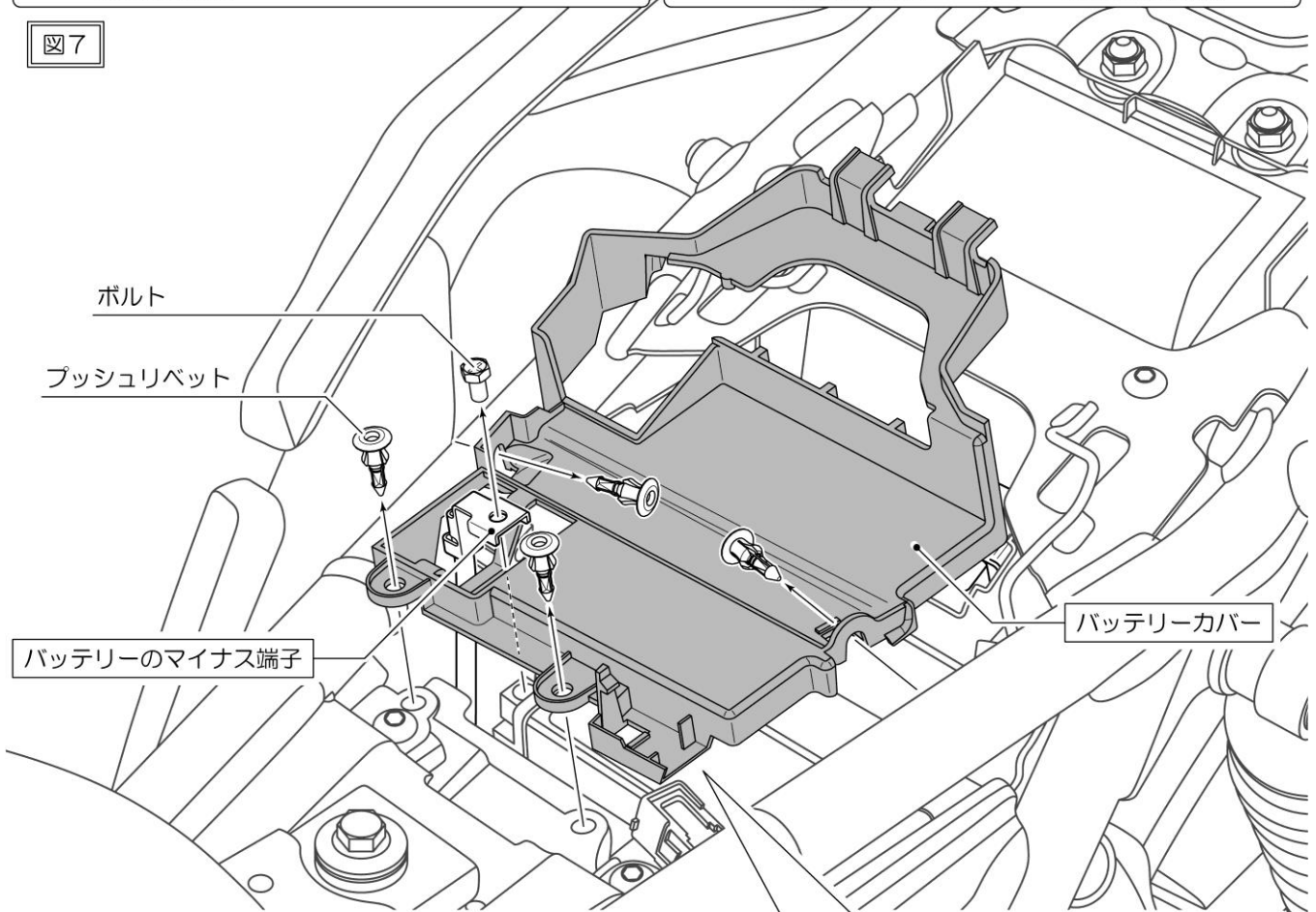


図7



バッテリーカバーの取り外し推奨方法

バッテリーカバーは各部のツメや接触部に注意しながら、右側から外すと作業がしやすくなります。

バッテリー端子を抜きます

※ツメに注意

※ツメに注意

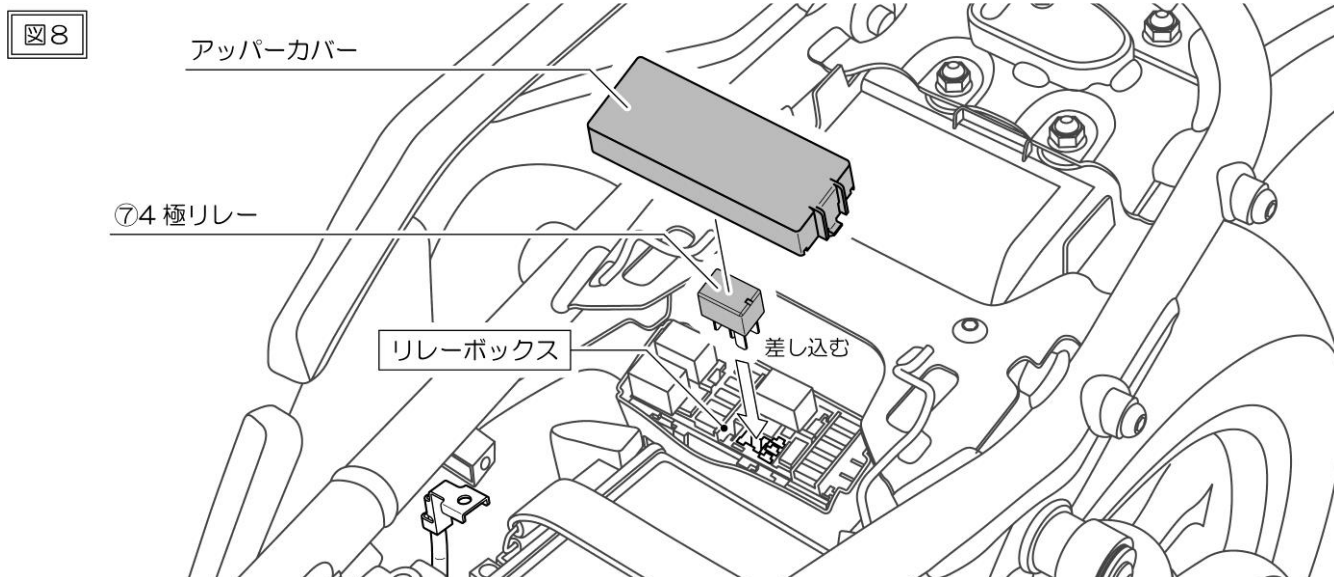
取り外し時にフレームへ接触してキズが付く恐れがあります。注意してください。

車両側カブラー
※バッテリーカバーから外して避けます

08. 4極リレーの取り付け

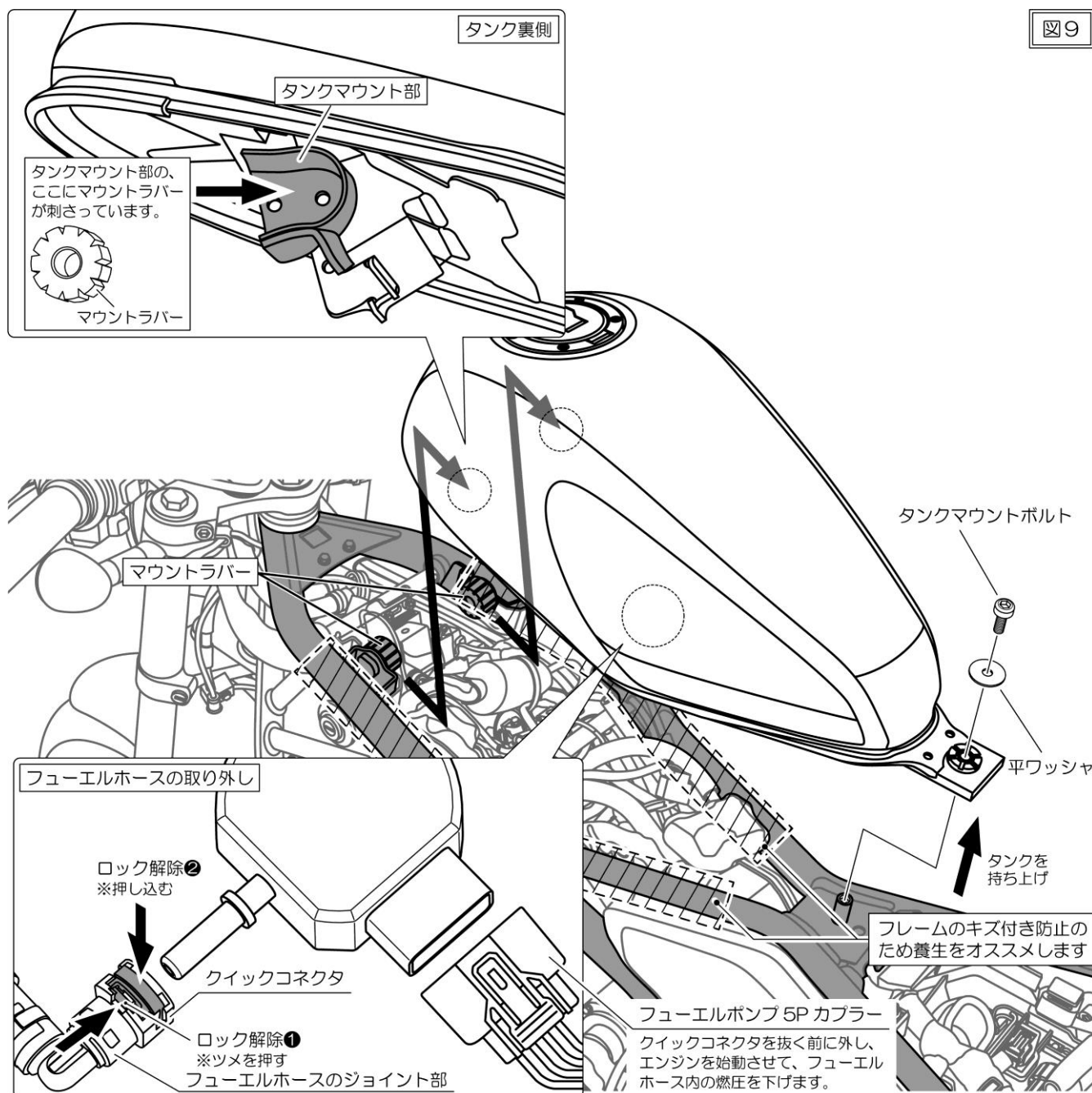
- 図8を参考に、リレーボックスのアップパーカバーを取り外し、⑦4極リレーを取り付けます。
- 取り外したバッテリーカバーを元に戻し、バッテリーのマイナス端子をバッテリーに接続します。
- メインキーをONにして①タコメーターが正常に起動することを確認します。

※タコメーターが正常に起動しない場合は、プラス線とマイナス線の接続に間違いがないか確認し、⑩電源取出しハーネスが導通していることをテスターなどで確認してください。またタコメーターのプラス線とマイナス線をバッテリーに直接接続し、起動することを確認してください。



09. 純正タンクの取り外し

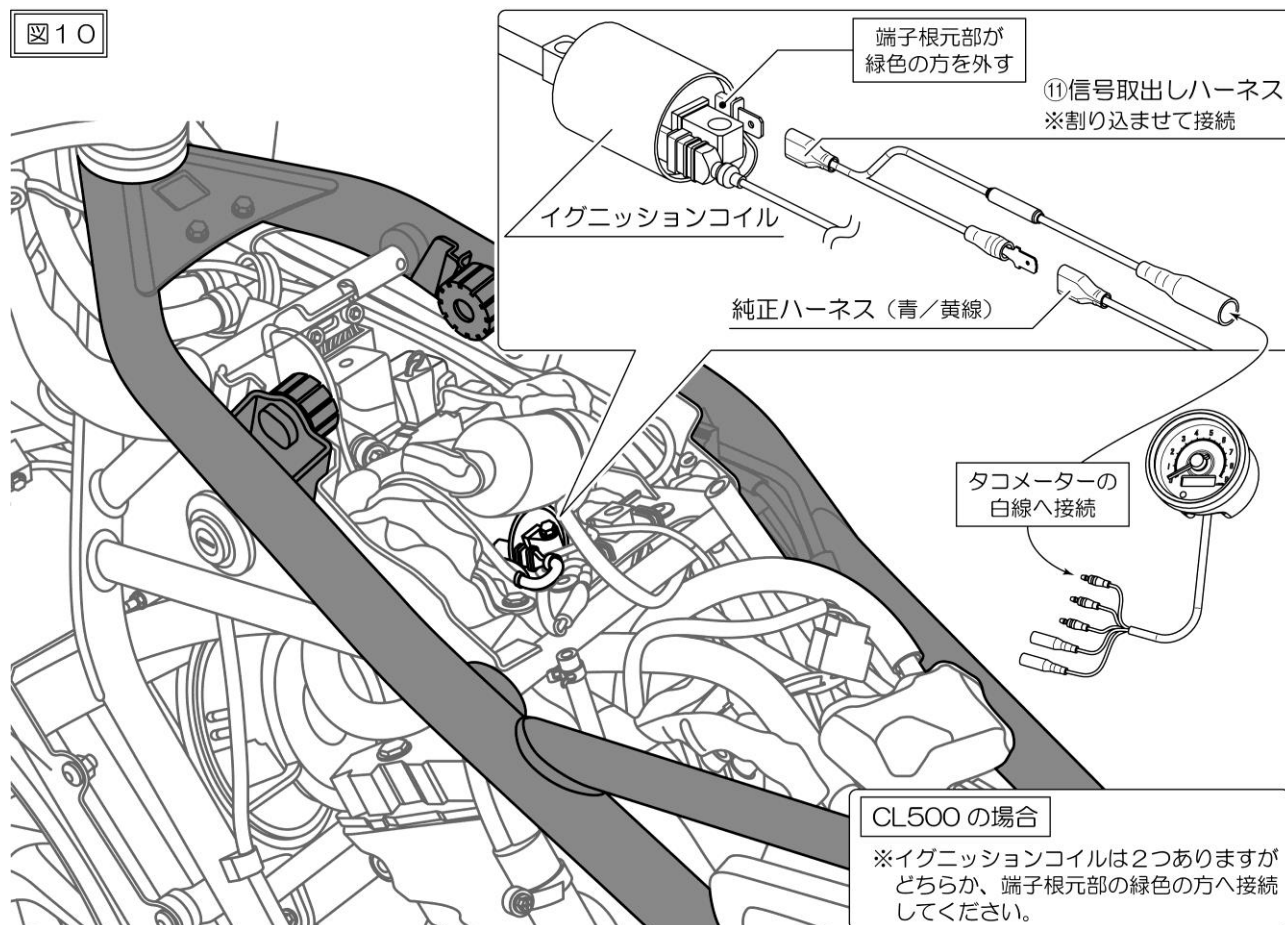
- 図9を参考に、タンクマウントボルト (M8×22) と平ワッシャ (M8) を取り外します。
- タンク後方を少し持ち上げ、後方へズラし、マウントラバーからタンクを外し、適切なブロックなどでタンクを支えます。
- タンクに接続されているフューエルポンプ 5P カブラーの接続を外します。
- メインキーを ON にしてエンジンを始動します。その後、アイドルリング状態でエンジンが停止するまで動かし、フューエルホース内の燃圧を抜きます。エンジン停止後はメインキーを OFF にします。
- クイックコネクタ周辺をウエスなどで覆い、タンクのジョイント部よりクイックコネクタを抜きます。
※クイックコネクタはリテーナー (黄色い部品) のロックを解除し、ホース内側に押し込んだ状態で引っ張ると、抜くことができます。
※クイックコネクタ内に異物が入らないように注意してください。またホースを無理にねじったり、曲げたりしないでください。
- タンクから他のホースも外し、タンクを取り外します。



10. 信号取出しハーネスの接続

- 図 10 を参考に、イグニッションコイルの端子部が緑色側の純正ハーネス（青／黄線）を取り外します。
- 先ほど外した端子と純正ハーネスの間に、⑪信号取出しハーネスを割り込ませるように接続します。
- ⑪信号取出しハーネスに⑪タコメーターの白線を接続します。

図 10



11. タンクの取り付け

- 図 9 を参考に、以下の手順で純正タンクを車両へ取り付けます。
- クイックコネクタをタンクに挿し込みます。
※「カチッ」と音が鳴ればロックされます。その後はクイックコネクタが抜けないか確認を行なってください。
- フューエルポンプ 5P カプラーを接続します。
- 外したホースを取り付けます。
- タンクをマウントラバーに挿し込み、マウントボルト固定用のボスに挿し込みます。
- メインキーを ON にしてフューエルポンプの作動が終わるまで待ちます。エンジンストップスイッチを ON⇒OFF させ、再びフューエルポンプを作動させます。
※フューエルポンプを作動させる作業を 2～3 回繰り返し、燃料が漏れていないことを点検してください。
- マウントボルト（M8×22）と平ワッシャ（M8）でタンクを固定します。

